

◇講演者のプロフィール



Ms. Nancy Gillis, Green Electronics Council, CEO (グリーンエレクトロニクスカウンシル CEO)

2016年3月、GECのCEOに就任。公共および民間部門の双方において、持続可能性を活用した競争力の向上やリスク管理、イノベーションの促進に関する専門家として20年以上の経験を有する。GECのCEO就任以前には、米国連邦政府の調達機関である米国連邦調達庁(GSA)において、連邦政府調達における持続可能性に係る基準と環境ラベルの導入と活用促進を担う連邦サプライチェーン事務所の担当責任者を務めたほか、国際的監査法人で総合コンサルティング会社であるアーンスト・アンド・ヤング社(EY)にてFortune 100企業に対する持続可能な調達マネジメントや責任あるサプライチェーン構築を支援するグローバルリーダーを務めた経歴を持つ。



Mr. Le Hoai Nam, Director, Department of Environmental Quality Management, Vietnam Environment Administration (VEA), Ministry of Natural Resources & Environment (MONRE) (ベトナム天然資源環境省 ベトナム環境総局 環境品質管理課 課長)

現在、天然資源環境省ベトナム環境総局の環境品質管理課長を務める。ベトナムにおける環境政策に23年以上携わっており、環境影響評価をはじめ公害・汚染対策、廃棄物管理、環境再生・修復などに取り組み、現在は環境ラベル「ベトナム・グリーンラベル」の責任者も担当している。



Ms. Takako Satoh, RICOH Company Ltd. (株)リコー サステナビリティ推進本部 環境推進室 審議役)

1987年入社。画像機器製品の設計業務を経て、1999年に環境部門(現サステナビリティ推進本部)に異動、環境経営の実践を始める。環境経営の4本柱として、温暖化防止分野・省資源分野・汚染予防分野・生物多様性保全分野を掲げ、各分野に方針、目標を設定し、製品・事業(工場、オフィス)の環境負荷低減を推進。温暖化防止分野・省資源分野では、2030年・2050年の環境目標を設定し、目標達成に向けてリコーグループ拠点の脱炭素活動、新規投入資源の削減を行う資源循環活動を強く推進している。



Ms. Kristine Dorosko, European Commission Directorate-General for Environment, Policy Officer EU Ecolabel(欧州委員会環境総局、EUエコラベル担当官)

Kristine Dorosko氏は、EUエコラベルの宿泊施設サービス、洗剤、ヘアボディ製品などの製品グループを担当するなど、持続可能な生産をテーマとした取組に深く関わっているほか、サーキュラーエコノミーにおける欧州プラスチック戦略の策定にも携わった。また、ラトビアが欧州連合理事会議長国を務めた際、国際環境問題の分野においてラトビア代表団の一員として携わった経験も持つ。



PhD. Tiberio Daddi, Assistant Professor Corporate Environmental Management at S. Anna School of Advanced Studies(サンターナ大学 企業環境マネジメント 助教授)

Tiberio Daddi氏は、イタリアのピサにあるサンターナ大学の企業環境管理の助教授を務めるかわら、環境マネジメント、サーキュラーエコノミー、グリーン消費と生産の分野について、イタリア国内に限らず欧州域内を対象としたプロジェクトに多く参加している。



PhD. Fabio Iannone, PhD Researcher, Sustainability Management at S. Anna School of Advanced Studies(サンターナ大学 企業環境マネジメント 博士研究員)

Fabio Iannone氏は、ピサ・イタリアにあるサンターナ大学の持続可能性マネジメントの博士研究員である。環境マネジメント、サーキュラーエコノミー、企業の社会的責任の分野において欧州および国家プロジェクトに参加しているほか、現在は、GPPを導入・実施するための課題とその対策を中心とした研究活動に取り組んでいる。